

売上金は社会福祉協議会へ

福祉バザー

第21回ボランティア連絡協議会主催の福祉バザーが11月23日、中央公民館で開かれました。町民の皆様から寄附していただいた衣類、日用品、野菜、鉢物など約2,592点が市価より安い値段で販売され、会場はオープンと同時に大勢の人でにぎわいました。



会場内は大盛況

売上金は、714,020円で全額町の社会福祉協議会に寄附され、在宅福祉資金として、介護用ベット、車いす、一人暮らし老人の給食サービスなどにあてられます。皆様のご協力ありがとうございました。

EMパワーを活かそう

EM活用講習会



米のとぎ汁を使いEM発酵液を作る参加者

11月12日、町商工会・同女性部・町食品衛生協会の主催で、それぞれの会員と一般の方を対象にふるさと産業文化館でEM（有用微生物群）活用講習会が開かれ、54人の参加者が簡単にできる環境浄化について学びました。足利商工会議所参事の中庭三夫さんを講師に、EMの基礎知識と活用法を学び、続いてNPO法人足利水士里探偵団理事の林幸江さんを講師に、EM発酵液を作りました。抗酸化力と腐敗を抑える働きのあるEMパワーを活かそうと参加者は熱心に実習に取り組みました。

育てる楽しみも知ってほしい

花の栽培管理講習会

11月10日、町花いっぱい運動推進協議会と町労使教育委員会共催で、花の栽培管理講習会をふるさと産業文化館で開催。22人の参加者はメモを取りながら熱心に聞いていました。講師は、県の花トピアアドバイザー花岡喜重先生。家庭園芸と花の町づくりについての講話では、「快適な生活を送る手段として、観賞するだけでなく、育てる楽しみも知ってほしい」と強調しました。講話の後、スライドにより、植木の特性をいかに生かして育てるか等を説明しました。



熱心に聞き入る参加者

親子で忍者に大変身!

巡回児童劇



忍者に変身!ゲームを楽しむ参加者

巡回児童劇「忍者・まちを走る」が10月19日、小学生やお父さんお母さんら約60人が参加して東部児童館で開催されました。この事業は、優れた児童劇等を通じて子どもたちの情操を高めることを目的に開催したものです。会場では、遊びや劇の達人である劇団「アフタフ・パーバン」のメンバー7人が忍者に変身して登場。参加した親子らも一緒にゲームなどを元気に楽しみました。参加者は「久しぶりに思いっきり親子でエンジョイしました」と話していました。